

# Beo6

ガイド

# 目次

## **関連書類, 4**

Beo6に付属する各書類について、説明します。

## **Beo6の使い方, 5**

Beo6 ディスプレイのボタン、および物理的ボタンの使い方を説明します。

## **Bang & Olufsen製でない製品の操作, 6**

端末機器などの操作方法を説明します。

## **充電器の使い方, 7**

テーブル充電器の使い方を説明します。

## **Beo6 Setup メニュー, 8**

Beo6 Setup メニューが提供するオプションについて説明します。

## **ワイヤレスセットアップ, 11**

ワイヤレスネットワークでの、リモコンの使い方を説明します。

## **クリーニング, 15**

リモコンのクリーニングについて説明します。

## はじめに

Beo6は、お客様がお手持ちのBang & Olufsen製品を最も簡単に操作できるよう、状況に応じたカスタマイズが行なえるリモコンです。

Beo6をお買い求めいただくと、お客様のご自宅の製品構成にマッチするよう、Bang & Olufsen販売店がプログラミングを代行させていただきます。

これによって、お客様のBeo6のすべてのボタンが、お客様のシステムと確実に対応していきます。

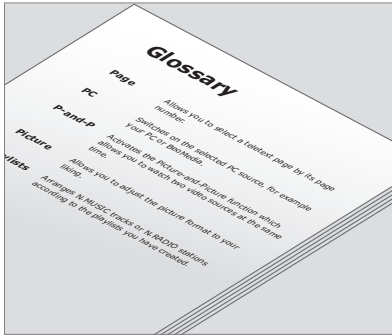
お使いのBang & Olufsen製品に、2方向コミュニケーションなどの新機能が加わった場合も、その新機能に対応させるため、販売店がBeo6を再プログラミングさせていただきます。

新しい製品を購入するなどして、ご自宅の製品構成が変わった場合は、必ずBang & Olufsen販売店に依頼し、新製品や新機能に対応できるよう、Beo6をプログラミングし直してください。



Beo6は、Beo5と完全な互換性をもっています。つまり、あるユーザーガイドでBeo5リモコンでの操作が説明されていたら、Beo6リモコンを使っても、その説明通りの操作が行なえます。

## 関連書類



カスタマイズされたBeo6の各ボタンについては、お客様専用のBeo6ボタン説明書で説明されています。

このリモコンには、このリモコンの基本的な機能を説明するスタートアップガイドが付属しています。本ユーザーガイドでは、ボタンを移動させる方法、チャンネル番号をチャンネルロゴに割り振る方法など、このリモコンのより詳しい操作方法を説明していきます。本ユーザーガイドは、Beo6に新機能などが追加された場合は、ただちにアップデートされます。ただしリモコンの設定によっては、このようなアップデートに、Beo6本体が即座に対応できない場合もあります。

本ユーザーガイドの便利な参考資料として、Bang & Olufsen 販売店は、店内でお客様のBeo6をプログラムさせていただくたびに、そのお客様専用のボタン説明書と用語集をお作りいたします。

このボタン説明書は、お客様のBeo6の'地図'代わりとなり、操作したい機能とボタンを、素早く見つけられるようお手伝いします。

お客様専用のBeo6用語集には、そのお客様の設定で使用可能な全ボタンについての説明が書かれています。

ご自宅の製品構成が変わった場合は、新しい製品構成に適合したボタン説明書と用語集をご準備いたします。

# Beo6の使い方

このリモコンを初めて使用する場合は、まず充電しておかなければなりません。このリモコンの充電方法については、7ページをご覧ください。

充電が終わったら、このリモコンは使用可能になります。

手に取ったり、スクリーンに軽く触れるだけで、Beo6のスイッチはオンになります。周囲が暗かった場合は、Beo6のディスプレイが点灯されます。その後、スクリーンに表示されているボタンの中から、どれか1つを選びます。

いずれかのソースを選んだあとは、音量の調整、チャンネルやトラックの変更、一時停止および再生など、ほとんどの機能がBeo6の球体部で操作できます。



手に取ったりスクリーンに触れた時、周囲が暗いと、このリモコンのディスプレイは明るく点灯します。



ディスプレイがオンになると、スクリーン上にボタンが表示されます。これらのボタンを押すことで、各ソース、または機能をオンにできます。

## Bang & Olufsen 製でない製品の操作

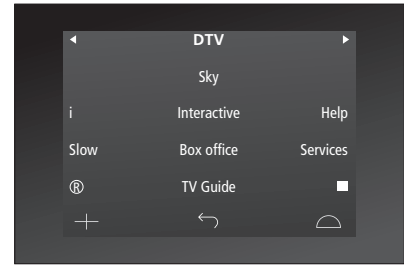
ご使用になっている Bang & Olufsen のビジュアル製品が、Peripheral Unit Controller を内蔵しており、接続している端末機器などの非 Bang & Olufsen 製品がこれに対応している場合は、このリモコンでその端末機器などが操作できます。Bang & Olufsen は、各国で一般的に販売されている端末機器のほとんどに対応しています。販売店に依頼して、ご使用の端末機器に合ったプログラミングを Beo6 に施すと、その機器に対応したリモコンのボタンが Beo6 ディスプレイに表示されます。

照明器具、カーテン、ブラインドなど、その他の非 Bang & Olufsen 製品の中にも、Beo6 で操作可能な場合があります。対応している Home Automation System 経由で操作できる製品と、Beo6 による直接操作が可能な製品があります。

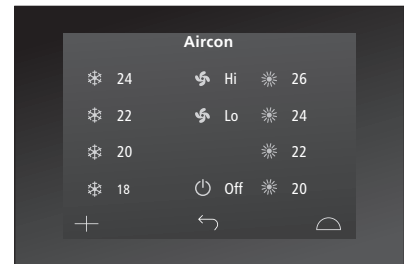
接続した外部機器の主要な機能は、Beo6 リモコンで操作できます。ただし Beo6 は、すべての機能に対応しているわけではありません。特定の外部機器をオンにすると、使用可能な機能とサービスが、Beo6 ディスプレイに表示されます。

Bang & Olufsen 製ではない製品の Beo6 を使った操作について、詳しくは Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

注意! Bang & Olufsen 製ではない製品に関連したボタン類は、カスタマイズされた Beo6 のボタン説明書には記載されません。



他社の端末機器を操作するためのボタンが表示された一例。



Home Automation System を操作するためのボタンが表示された一例。

# 充電器の使い方

Beo6は、充電式バッテリーで動作するリモコンであり、携帯電話のように定期的な充電が必要です。充電には、Beo6専用の充電器を使います。

Beo6を、いつも充電されている状態に保つため、使い終わったら必ず充電器にセットすることをお勧めします。

センターボタンを押し続けても、Beo6リモコンのスイッチが入らない場合は、充電する必要があります。

Beo6のバッテリーが完全にあがっている時は、充電器に短時間セットするだけでも、テレビやラジオをオンにすることができます。テレビなどを楽しみながら、そのまま充電を行なってください。

リモコンを、充電器に正しくセットします。Beo6の充電は、約4時間で完了します。

充電が完了したバッテリーは、スタンバイ状態のままなら約一週間、連続して使用した場合は2時間から4時間もちます。

リモコンに充電が必要になると、ディスプレイに警告が表示されます。

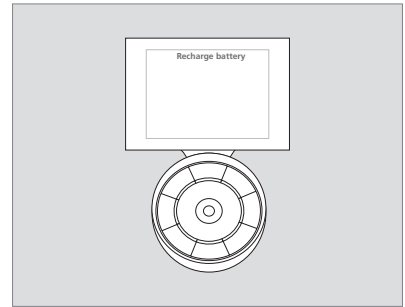
2方向コミュニケーション機能を使うと、バッテリーの消耗が早まります。リモコンに充電が必要な場合は、ワイヤレスでの操作に不具合が起きる可能性があるご注意ください。

## 電力消費

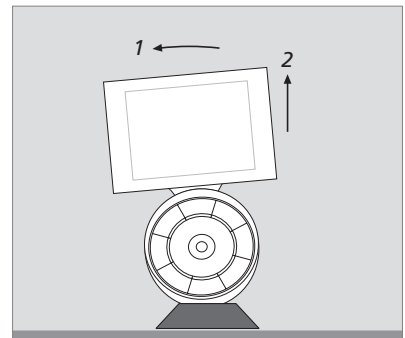
スイッチに入れられたBeo6は、バックライトが点灯している状態で、特に大きな電力を消費します。そのため、Beo6をしばらく使わないでいると、自動的に省エネモードになります：

- 10秒が経過すると、バックライトが暗くなります。
- 30秒が経過すると、Beo6はスタンバイモードになり、ディスプレイが暗くなります。

これらの省エネ設定の変更の方法については、このガイドの8ページをご覧ください。



バッテリーに充電が必要になると、ディスプレイには 'Recharge Battery' と表示されます。



充電器には、Beo6を正しい位置に保つための磁石がつけられています。リモコンを充電器から外すときは、わずかに傾けたあと、軽く引き抜いてください。

# Beo6 Setup メニュー

このリモコンには、各種の設定をお客様がご自分で変更できる Setup メニューが準備されています。Setup メニューへ入るには、球体部のセンターボタンを押しながら、スタンバイボタンを押し続けてください。

## Setup メニューの使い方

Setup メニューの各項目は、スクリーン上から直接選べますし、**センター**ボタンと球体部の矢印ボタン(←、→、↑、↓ および ↻)を使って選択することもできます。

矢印ボタンでメニュー項目を選ぶには、使いたいボタンをカーソルで囲んだあと、**センター**ボタンを押します。**Edit**メニューに入っている時は、スクリーン上のボタンを直接押してサブメニューを呼び出します。

Setup メニューで1つ前の画面に戻るには、球体部の **BACK** を押すか、スクリーンの ☒ を押します。各画面に加えた変更は、Setup メニューを終了するとき、すべて自動的に保存されます。

## Setup メニューの内容は …

**Edit** … Beo6 ディスプレイに、どのボタンを表示させるか決定します。チャンネルまたはラジオ局メニューで、チャンネル名に関連づけられたチャンネル番号を変更するのにも使用します。

**Wireless** … ご使用のワイヤレスネットワークに組み込めるよう、Beo6 を設定します。詳しくは 11 ページをご覧ください。

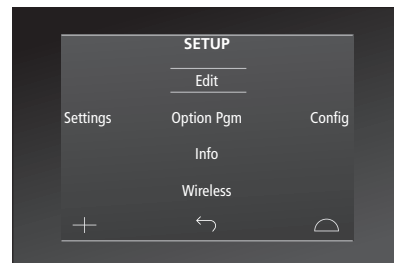
**Settings** … バックライトが暗くなるまでの時間と、ディスプレイが消灯するまでの時間を変更できます\*。Bang & Olufsen 販売店が行なった設定に、Beo6 を復帰させることもできます。

**Config** … Beo6 を、出荷時の設定に復帰させます。

**Option Pgm** … お手持ちの Bang & Olufsen 製品に、Option プログラミングを行ないます。

**Info** … Beo6 のソフトウェアのバージョン、バッテリーの状況、Beo6 の設定を最後に変更した日が表示されます。

\*バックライトの点灯時間が長くなると、リモコンを充電器にセットする頻度も増すのでご注意ください。



Setup メニューでは、2本の平行な上下カーソルが、どのボタンが選ばれているかを示します。**センター**ボタンを押すと、そのボタンで確定されます。

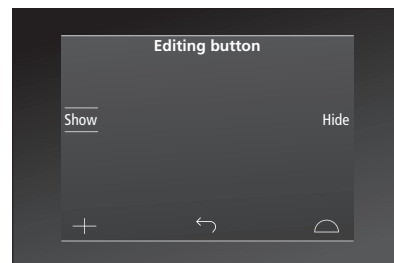


## Edit ボタン

**Edit** メニューでは、使用しないボタンを取り除いたり、隠されているボタンを復帰させたりすることができます。

### ボタンを表示させる、または隠す方法:

- > SetupメニューでEditを選びます。
- > スクリーンのボタンを押してゾーンを選んだあと、変更したいボタンが使われるソース名を選びます。
- > スクリーン上の適切なタッチボタンを押したあと、センターボタンを押して、変更したいボタンを確定します。現在は非表示になっているボタンは、灰色で表示されます。
- > センターボタンをもう一度押し、そのボタンの変更を終えます。このメニューを終了させると、加えた変更は自動的に保存されます。



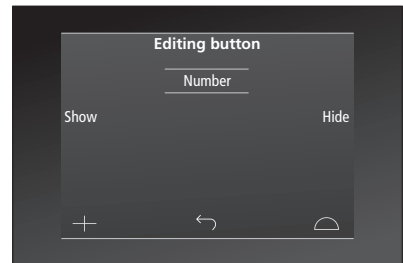
## チャンネル番号の設定を変更する

もしリモコンのプログラミングを担当した人が、あるチャンネルの番号を例えば5番から6番に変えていた場合、元のチャンネルロゴを押したとき正しいチャンネルが表示されるよう、Beo6の番号設定を変更する必要があります。

### チャンネルロゴに新しいチャンネル番号を割り振る方法:

- > SetupメニューでEditを選びます。
- > スクリーンのボタンを押してゾーンを選んだあと、変更したいボタンが使われるソース名を選びます。
- > Channelを押します。
- > ナビゲーション用のボタンを使って変更したいロゴを選んだあと、センターボタンを押します。
- > Numberを押します。
- > Clearを押して古い番号を消去したあと、新しい番号を入力します。
- > Storeを押して新しい番号を保存します。
- > Backを押してこのメニューを終了させます。

リモコンの設定変更は、もちろん Bang & Olufsen 販売店も承ります。販売店にお問い合わせください。



# ワイヤレスセットアップ

ワイヤレス用の設定を行なえば、Beo6をワイヤレスネットワークで使用することも可能になります。これによってBeo6は、操作する製品との2方向コミュニケーションを行なうようになります。

ワイヤレスネットワークへの接続方法は、それぞれのネットワークによって違ってきます。Bang & Olufsenは、特定のネットワークリンクアクセスポイントを推奨しています。詳しくは、販売的にお問い合わせください。

接続したいアクセスポイントに近い場所で、Beo6の設定作業を行っていくことが重要になります。

ご使用のBang & Olufsenワイヤレスネットワークのすべてのアクセスポイントに接続してください。

2方向コミュニケーションに対応しているBang & Olufsen製品の一部にのみ限られていますのでご注意ください。この機能と操作に関する情報は、各製品のガイドをご覧ください。

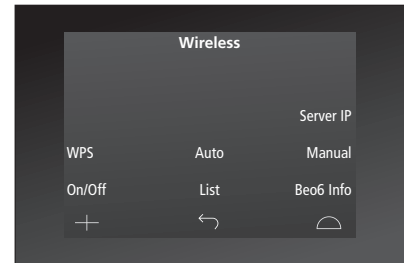
## ワイヤレス通信を有効にする

工場出荷時に、Beo6のワイヤレスモジュールは、無効に設定されています。このため、ワイヤレスセットアップに接続する前に、ワイヤレスモジュールを有効にする必要があります。

### ワイヤレスモジュールを有効にする

- > SetupメニューでWirelessを選択します。
- > Beo6でOn/Offを押します。
- > Beo6で接続開始を選択します – 有効な設定が赤色でマークされます。

Beo6のワイヤレスモジュールは電源を使用するため、バッテリー電源が消費されて使用可能な時間が減ります。このため、ワイヤレス機能を使用できないまたは使用しない場合は、ワイヤレスモジュールを無効にすることをお勧めします。



ワイヤレスセットアップメニュー。

## 自動ワイヤレス接続

Bang & Olufsenは、自動接続に対応しているアクセスポイントの使用を推奨します。このようなポイントは、WPS (Wi-Fi Protected Setup) とも呼ばれています。このようなアクセスポイントには、専用の'接続'ボタン(WPS/C)が付けられています。

詳しくは、そのアクセスポイントに付属するガイドをご覧ください。

### ワイヤレスセットアップへの自動接続

- > SetupメニューでWirelessを選びます。
- > Beo6でWPSを押します。
- > アクセスポイント側で、'接続'ボタンを押します。
- > Beo6でOKを押します。Beo6は、そのアクセスポイントに接続しますが、少し時間がかかります。
- > 接続が完了すると、Beo6にConnection OKと表示されます。
- > OKを押して、Wirelessメニューに戻ります。
- > 必要であれば、ワイヤレスネットワーク内のすべてのアクセスポイントに次々と進んで、同じ手順を繰り返していきます。
- > Backを押してこのメニューを終了させます。

接続が確立されないと、接続失敗メッセージがBeo6のディスプレイに表示されます。アクセスポイントに近づけて再接続するか、手動でセットアップしてください。

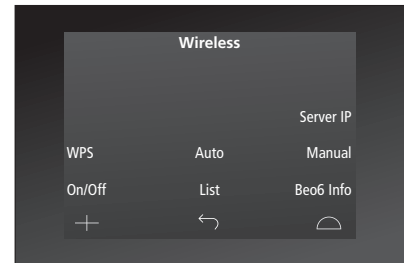
## ワイヤレスネットワークを検索する

Beo6は、接続可能なすべてのネットワークを検索するので、その中からお好きなものに接続することができます。この機能は、あるアクセスポイントが自動接続に対応していない場合などに便利です。

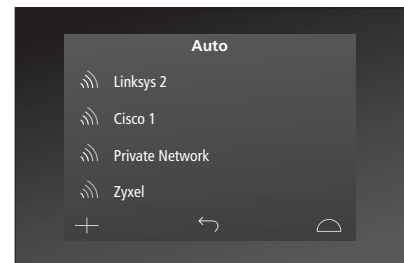
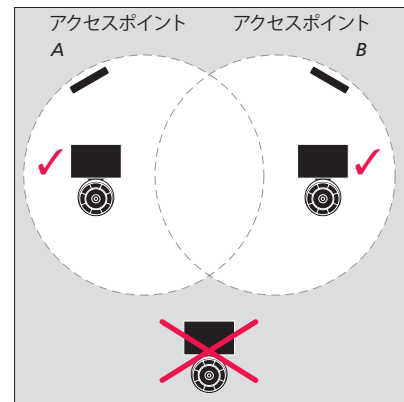
### Beo6にネットワークを検索させる

- > SetupメニューでWirelessを選びます。
- > Autoを押します。Beo6がネットワーク検索を開始します。これは、時間がかかる場合があります。
- > 接続可能なネットワークのリストが、Beo6ディスプレイに表示されます。接続したいものを1つ選んでください。
- > 接続にパスワードが必要なネットワークの場合、パスワードを入力する画面が表示されます。
- > パスワードを入力し、GOを押します。
- > 接続に成功すると、Connection OKがBeo6のディスプレイに表示されます。
- > OKを押して、Wirelessメニューに戻ります。
- > 必要であれば、ワイヤレスネットワーク内のすべてのアクセスポイントに次々と進んで、同じ手順を繰り返していきます。
- > Backを押してこのメニューを終了させます。

リモコンの現在位置に向かって、最も強い信号を発しているネットワークが、リストの先頭に表示されています。通常、ここが最も至近なアクセスポイントでもあります。



ワイヤレスセットアップメニュー。



接続可能なワイヤレスネットワークのリスト。各ネットワークの信号の強さも示されます。

## 手動ワイヤレスセットアップ

ご使用のネットワークがSSIDで保護されている場合は、手動で接続を行なう必要があります。そのネットワークの名称(SSID)およびパスワードを手動で入力し、接続許可を得てください。

### 手動でセットアップを行なう

- > SetupメニューでWirelessを選びます。
- > Beo6でManualを押します。
- > 表示された画面にネットワーク名(SSID)を入力し、OKを押します。
- > そのネットワークの暗号化方式を選びます。Open、WPAおよびWPA2から選べます。
- > パスワードを入力する画面が表示されます。
- > ネットワークパスワードを入力し、GOを押します。
- > 接続に成功すると、Connection OKがBeo6のディスプレイに表示されます。
- > OKを押して、Wirelessメニューに戻ります。
- > 必要であれば、ワイヤレスネットワーク内のすべてのアクセスポイントに次々と進んで、同じ手順を繰り返していきます。
- > Backを押してこのメニューを終了させます。

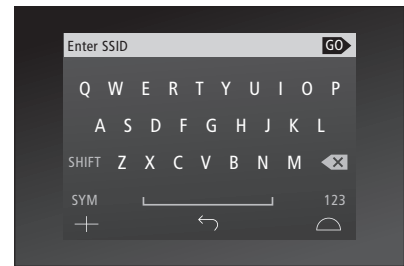
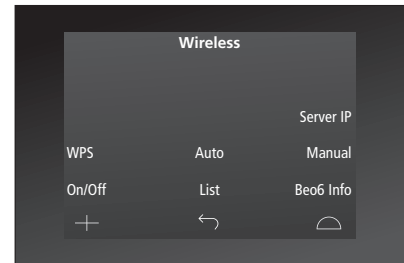
## 新規IPアドレスの入力

操作する製品のIPアドレスが異なる場合、2方向通信を有効にするために、新規IPアドレスをBeo6に入力してください。

Beo6をBeoSound 5との2方向通信に使用する場合、先ずBeoSound 5のIPアドレスを調べてください。

### 新規IPアドレスの入力

- > BeoSound 5のIPアドレスを調べるには、NETWORK INFOメニューからIPアドレスを探します。192.168.100.111などが、アドレスの一例です。
- > SetupメニューでWirelessを選択します。
- > Beo6でServer IPを押します。
- > ディスプレイでIPアドレスを入力して、GOを押します。



## ネットワークのリスト

Beo6は、いくつかあるアクセスポイントの中から、それまでに接続したことのあるポイントを選んで、自動的にそこに接続します。とはいえ、ネットワークのリストを呼び出してそれぞれの状態を確認し、必要に応じネットワークを削除することもできます。アクセスポイントを動かしたり交換したりした場合は、不要なネットワークを削除したほうが便利なお知らせがあります。

### ネットワークを削除する

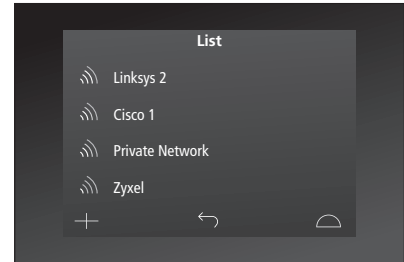
- > SetupメニューでWirelessを選びます。
- > Listを押します。
- > これまでに接続したネットワークのリストが、Beo6ディスプレイに表示されます。削除したいものを押してください。
- > 削除を押すと、ネットワークが削除されません。
- > Backを押してこのメニューを終了させます。

## ネットワークの問題

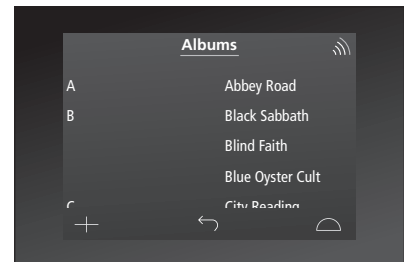
Beo6はポータブル機器であり、そのワイヤレス機能は、お客様のご家庭内のワイヤレスセットアップと電波環境に依存しています。ですから、それまで順調に働いていたセットアップが、環境の変化によって問題を起こすことも充分にあり得ます。セットアップに問題が起きたり、疑問がある場合は、Bang & Olufsen 販売店にご連絡ください。

### Beo6でネットワーク情報を確認する

- > SetupメニューでWirelessを選びます。
- > Statusを押します。
- > 現在使われているワイヤレスネットワークの状態が、ディスプレイに表示されます。
- > Backを押してこのメニューを終了させます。



それまでに接続したネットワークのリスト。



製品をワイヤレス操作中、信号強度が右上に表示されます。正常に操作するには、信号強度の表示が2本線またはそれ以上でなければなりません。

# クリーニング

リモコンをクリーニングする時は、スイッチをオフにしておくことをお薦めています。オフにするには、センターボタンを押し続けてください。

リモコンのスイッチを改めてオンにする時は、もう一度センターボタンを押し続けます。

## クリーニング

油汚れやしつこい汚れなどは、台所用等のマイルドな洗剤を数滴だけ混ぜた水にケバのない布を浸し、その布をよく絞って拭き取ってください。

リモコンのディスプレイをクリーニングする時は、マイルドな窓用クリーニング液を使ってください。ディスプレイの性能を最大限まで発揮させるため、クリーニング液は完全に拭き取り、拭き跡を残さないようにしてください。

もしディスプレイのガラスが損傷した時は、すぐ販売店に連絡し、交換してください。

微細な繊維でできた布の中には、それ自体が強い研磨力をもっているものもあり、ガラス面を傷つける危険があるのでご注意ください。

注意! このリモコンのどの部分をクリーニングする際にも、アルコールなどの溶剤は絶対に使わないでください。